

JICA研修「妊産婦の健康改善」にいられたアジア、アフリカ、オセアニアの方々を瀬戸内圏研究センターの調査船カラヌスで、高松港から女木島、男木島、大島を巡りながら小豆島にお連れしました。当日(10月26日)は晴天に恵まれ、美しい秋の瀬戸内の景色を堪能していただきました。

一方、その中で進行している離島の過疎化・高齢化の問題、経済や医療・介護の問題などを紹介し、瀬戸内国際芸術祭などが島々にどのように影響を与え始めているかなどを説明しました。先進国が抱え始めたこの問題、いち早く、日本、特に瀬戸内の離島が深刻化しており、その解決に向けて取り組んでいることなどを知っていただきました。

小豆島では新しくできた小豆島中央病院を訪問し、お産に関する設備見学や講義、取り組んでいる遠隔医療の実演を見ていただきました。

